

本書の特長

1 この1冊で文法・語法・熟語を完全マスター

大学受験や英語の資格・検定試験に必要な**文法・語法・熟語を、この1冊にまとめました**。この本を完全にマスターすれば、文法・語法・熟語でつまづくことはなくなるでしょう。

2 共通テストレベルの語彙と、「今どき」の英文が学べる

使用している**語彙のレベルは共通テストに合わせており**、スムーズに理解が進むよう語彙の解説も充実させています。問題文には、**入試や英語の資格・検定試験でよく問われる、環境問題や時事問題**などのトピックを多く取り上げています。

3 学習がそのまま英作文対策や英検対策になる

問題文は、**入試の英作文や英検のライティング・面接**で役に立つ英文にしました。問題形式は、「**英語で考えを伝える**」ための**文法・語法・表現が身につく**形式にしています。本書を使った英語学習は、英作文対策や英検対策に直接つながります。

4 メリハリの効いた解説とわかりやすい説明

高校生がつまづきがちな項目には詳細な説明を加える一方で、理解しやすい項目はシンプルな説明としています。これにより、**過不足なく、メリハリの効いた解説**を実現しています。

5 解法のヒントや英語の発想を記したTip

全問に付けた**Tip**は、問題の**解法のヒント**や**英語⇄日本語での発想の違い**などを記しています。積極的に**Tip**を読むことで、途中で挫折することなく学習に取り組むことができます。

6 まとめのFile、本質的な理解につながるGrasp

必須事項や**発展的な内容を整理し、File**として掲載しています。また、Graspでは**文法事項を図解化**したり、**文法の本質について解説**しています。

7 イラストを使った文法解説 [Visual Image]

Visual Imageでは、**イラストを用いて文法事項を視覚的に理解**できるように解説しています。問題に取り組む前や、重要項目を振り返る際に参照しましょう。

8 頻出熟語の完全リストアップと「覚え方」の解説

文法・語法だけでなく**熟語も充実**させました。熟語が覚えやすくなるように、**副詞や前置詞などの基本イメージ、熟語の成り立ちや覚え方**について詳しく解説しています。

9 英文音声やリスニング対策ページで「耳」から学べる

QRコードから**問題文の音声**がダウンロードできます。巻末のリスニング対策は**英語の「音の変化」についての学習**です。共通テストや英検のリスニング対策として活用しましょう。

10 赤シートで「単語・フレーズ・構文」も覚えられる

問題の核となる**文法・語法・熟語**だけでなく、問題文で使われている**重要単語・フレーズ・構文**も、付属の赤シートを使用して習熟度をチェックすることができます。

Part 1 文法編

Visual Image (VI)

文の成り立ち

時制・完了形

受動態

助動詞

仮定法

不定詞

動名詞

分詞

準動詞のまとめ

関係詞

接続詞

句と節のまとめ

比較

代名詞

主語と動詞の一致

否定

省略・倒置・強調

疑問文

無生物主語構文・話法

動詞の語法

名詞の語法

数量を表す表現

前置詞の語法

形容詞の語法

副詞の語法

形容詞を含む熟語

副詞のイメージで覚える熟語

前置詞のイメージで覚える熟語

名詞を含む熟語

副詞の働きをする熟語

群前置詞

その他の重要熟語

リスニング対策 (音の変化)

基礎知識

Part 2 語法編

Part 3 熟語編

「解答の仕方」と「ノートの使用」について

解答作業は、右ページの解答を赤シートで隠しながら行います。必ずしも左ページの問題文の空欄に直接解答を書き込んだり、専用ノートに英文を書いたりする必要はありません。英文や英単語を書くには時間がかかるため、**できるだけ、口頭や頭の中で英文を組み立てると**よいでしょう。

覚えておきたいポイントや関連する内容は、右ページの解説部分の余白にメモとして記入しましょう。この方法なら、メモを取ることが記憶を助ける手がかかりになりますし、次に問題を解く際に自分のメモが邪魔になることもありません。

「音読」について

英文(問題文)を声に出して音読することをお勧めします。QRコードで読み込んだ音声に合わせて**繰り返し音読することで、英文を自分のものにすることができます。**音読練習は英作文や英会話スキルの向上に役立つだけでなく、**英文読解力や速読の基礎力育成**にもつながります。

音読の際は、**できるだけ英文の内容をイメージしながら音読する**とよいでしょう。抽象的な内容の場合、なかなかイメージ化するのは難しいかもしれませんが、可能な限り、**英文が表す内容の情景を浮かべながら音読すると、英語の上達が早くなります。**

本文の右ページ上部には、音読の際に使用できるチェック欄を10個設けています。チェック欄は、異なる記号(斜線、逆斜線、縦線、横線、塗りつぶし)を使って、それぞれ10回ずつ記入し、合計で50回音読するというような使い方もできます。自分に合った音読回数に応じてチェック欄を活用しましょう。



解説の「オレンジ色と青色の語句」について

オレンジ色の語句は各項目の核となる表現、**+**マークが付いたオレンジ色の語句は関連表現です。青色の語句やフレーズは、入試の読解問題に頻出するものや、英検の面接でよく使うものです。スキマ時間を利用して、これらの語句を赤シートを使ってチェックしましょう。覚えた語句は□や○にチェックマークを入れるとよいでしょう。最初からすべてを覚えようとはせず、**まずはオレンジ色の語句を覚えることをお勧めします。**青色の語句やフレーズは、**意図的に後回しに**してもよいでしょう。

- 105** **I'm glad to see** you looking so well.
 ▶ 感情の原因「～して…」を表す不定詞の副詞的用法。⇒ [File16](#)
 be glad to do 「～してうれしい」
 see A doing 「A が～しているのを見る」

File17 結果を表す不定詞のその他の表現

- grow up to be A** 「成長してAになる」
 live to be A 「生きてAになる」
 ..., never to do 「…して、二度と～しない」

「1問にかける時間」について

Tip や **Words to Use** を見て**30秒～1分ほど考えても答えが出てこない場合は、右ページの解答と解説を読みましょう。**理解が不足していたり表現を忘れていたりする場合、解答に時間をかけるよりも、すぐに正解と解説を確認し、次に正解するために「理解」と「記憶」に重点を置くことが重要です。**2回目や3回目の復習では、1問にかける時間は30秒を目安に**しましょう。

「精選英作文」について

精選英作文は、すべての問題文の中から「文法や表現を文脈の中で覚え、英作文にも活用できる英文」を厳選したもので、全部で18箇所に配置しています。**出題は全部で360題**です。並べ替え問題として出題していますが、赤シートを利用すれば和文英訳問題として取り組むこともできます。ご自身の学習目標に応じて、問題への取り組み方を調整してください。

- ・英作文に取り組む必要がない場合
→ **並べ替え問題のみ**取り組む
- ・入試で英作文が出題される場合や英検準1級を受験する場合
→ 並べ替え問題に取り組んだ後、まずは**口頭での和文英訳**を行う。
それが十分にできたら、**筆記による和文英訳に挑戦**する。

「F番号(フォーカス番号)」について

各問題の□□□の下には、F088のような番号が記載されています。これらの番号は、『Ultimate 総合英語』および『Vision Quest 総合英語』に掲載されているFocus番号を指しており、本書で取り扱う問題に対応する項目の解説がそれぞれの参考書に記されています。さらに学習を深めたい場合は、参考書の該当するFocus番号の箇所を参照するとよいでしょう。

※本書は『Ultimate 総合英語』や『Vision Quest 総合英語』と連動していますが、それらをお持ちでない場合でも、問題なく学習を進められます。

- 109** ネット上に個人情報を投稿しないように気をつけなさい。
 Be careful personal information online.
 F 088 **Tip** **不定詞の否定形をつくる**ときの **not** の位置は？

「学習量の目安」と「学習の期間」について

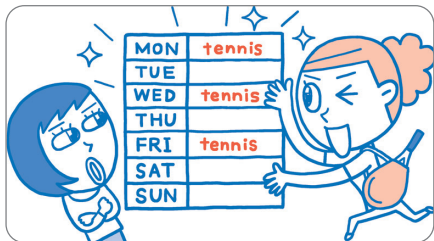
学習量と学習期間の目安を3つ示します。自分に合うペースを見つけてください。学習内容を「復習しながら」進めるほうがよいため、**少し余裕を持った計画を立てる**ことが大切です。

1. 「1週間に50番ずつ進む」(最短学習期間：約6か月半)
2. 「1日2ページずつ進む」(最短学習期間：約8か月)
3. 「1日4ページずつ進む」(最短学習期間：約4か月)

また、学習範囲を限定する方法もあります。Part1の「文法編」だけ、Part2の「語法編」だけ、Part3の「熟語編」のみ、苦手な文法項目を重点的に、といったように、あなた自身の学習状況に応じて**特定のPartや章に集中する**のも効果的なアプローチです。

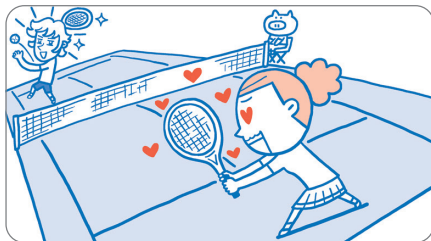
Visual Image 1 現在形と現在進行形の違い

現在形



Sara **plays** tennis.
 サラはテニスをする。
 →「現在を含む広い範囲の時」を表す。

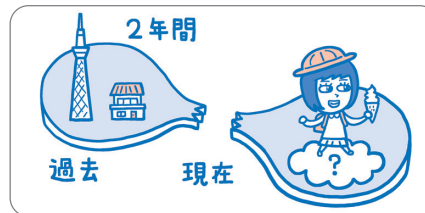
現在進行形



Sara **is playing** tennis now.
 サラは今、テニスをしている。
 →「その瞬間」をとらえている。

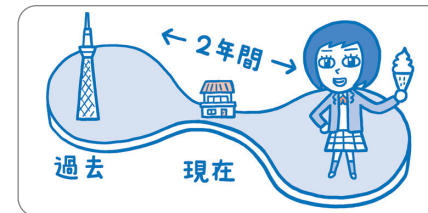
Visual Image 4 過去形と現在完了形(状態の継続)の違い

過去形



I **lived** in Tokyo for two years.
 私は東京に2年間住んでいた。
 →「過去の状態」を表す。今、どこに住んでいるかについては述べていない。

現在完了形(状態の継続)



I **have lived** in Tokyo for two years.
 私は東京に2年間住んでいる。
 →「過去から続く現在の状態」を表す。今も東京に住んでいる。

Visual Image 2 will と be going to の違い

will



Oh, there are no eggs.
 ああ、卵がない。



I'll get some.
 買ってくるよ。
 →「その場で決めたこと」について使う。

be going to



I'm going to get some.
 (前々から) 買う予定だ。
 →「前から計画していたこと」について使う。

Visual Image 5 現在完了進行形と過去完了進行形(動作の継続)の違い

現在完了進行形(動作の継続)



We **have been playing** soccer since this morning.
 今朝から、私たちは(ずっと)サッカーをしている。
 →「現在まで」の動作の継続。

過去完了進行形(動作の継続)



We **had been playing** soccer for an hour when it started to rain.
 雨が降り始めた時、私たちは1時間(ずっと)サッカーをしていた。
 →「過去のある時点まで」の動作の継続。

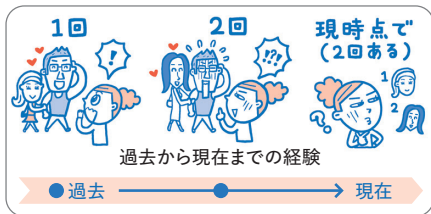
Visual Image 3 過去形と現在完了形(経験)の違い

過去形



I **met** Ken's brother yesterday.
 昨日、ケンのお兄さんに会った。
 → 今と切り離された過去の事柄を表す。「過去の一時点」の出来事。

現在完了形(経験)



I **have met** Ken's brother twice.
 ケンのお兄さんに2度会ったことがある。
 → 現時点までに、2度会った経験があるという「現在」に焦点を当てた表現。

Visual Image 6 過去完了形と未来完了形(完了・結果)の違い

過去完了形(完了・結果)



The party **had already started** when we arrived.
 私たちが到着した時、パーティーはすでに始まっていた。
 →「過去のある時点における」動作・行為の完了と、その結果生じた過去の状況。

未来完了形(完了・結果)



The party **will have started** by the time we arrive.
 私たちが到着するまでに、パーティーは始まっているだろう。
 →「未来のある時点における」動作・行為の完了と、その結果生じる未来の状況。

① 主語と動詞

主語(S)は日本語の「～は」「～が」にあたり、動詞(述語動詞)(V)は日本語の「～で」「～する」にあたる。

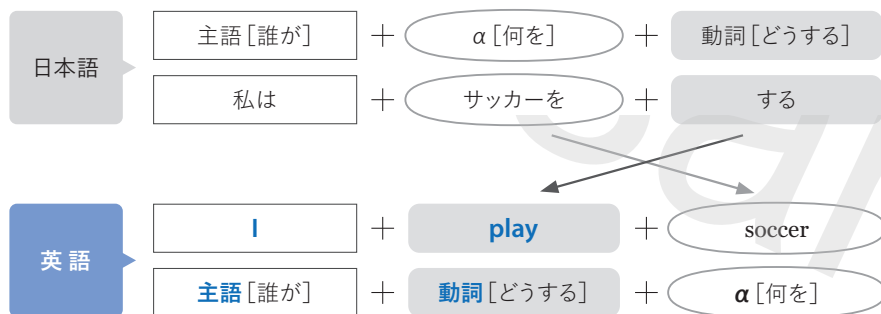
注意 日本語は主語を表さないことがあるが、英語は基本的に主語を省かない。

[日本語] 昨日、サッカーをした。

[英語] × Played soccer yesterday. → ○ I played soccer yesterday.

② 英語の語順

英語の語順は原則として〈主語(S) + 動詞(V) + 追加情報(α)〉となる。日本語の語順は〈主語 + α + 動詞〉が基本なので、「動詞」の出てくる順序が異なる。〈S + V の感覚〉を身につけることが英語学習の第一歩となる。



英語は語順によって文の意味が決まる。つまり、英語では語順を変えると意味が変わるが、日本語では語順を変えても基本的に意味は変わらない。

日本語 ① サラは ケンを 愛している。
② ケンを サラは 愛している。 } ほぼ同じ内容を表している。

英語 ③ Sara loves Ken.
④ Ken loves Sara. } 意味がまったく違う。

③

S (主語)	V (動詞)	α
Sara	loves	Ken.

サラはケンを愛している。



④

S (主語)	V (動詞)	α
Ken	loves	Sara.

ケンはサラを愛している。



③ 目的語・補語・修飾語

〈主語(S) + 動詞(V)〉の後にどのような情報(α)が続くかは、使う動詞によって決まる。αにくるものは、目的語(O)・補語(C)・修飾語(M)に分類して考えることができる。

目的語(O)は動詞(V)が表す動作の対象となる語。

S	V	O (目的語)
I	like	the singer.
私は	～が好きだ	その歌手

補語(C)は主語(S)または目的語(O)が「何であるか」「どのような状態であるか」を説明する語。be動詞やbecomeなどの動詞(V)の後にくる。SVOCについてはp.12を参照。

S	V	C (補語)
I	am	a high school student.
私は	～です	高校生

修飾語(M)は主語(S)・動詞(V)・目的語(O)・補語(C)、あるいは文全体の内容をより詳しく説明するために付け加えられる語。

S	V	M (修飾語)
I	get up	at six.
私は	起きる	6時に

④ 自動詞と他動詞

自動詞は後に目的語(O)がない動詞(=自分だけで動作が完結する動詞)。

S	V (自動詞)	M (修飾語)
Sara	arrived	at 2 o'clock.
サラは	到着した	2時に

他動詞は後に目的語(O)がくる動詞(=他の何か[誰か]に働きかける動詞)。

S	V (他動詞)	O (目的語)
Ken	threw	the ball.
ケンは	～を投げた	そのボール

1つの語が自動詞としても、他動詞としても使われることがある。

Naomi returned to her hometown. [自動詞] [SVM] (ナオミは故郷に戻った。)

Naomi returned the book to the library. [他動詞] [SVOM]

O

(ナオミは図書館にその本を返した。)

5 基本5文型

主語 (S)・動詞 (V)・目的語 (O)・補語 (C) の語順は、基本的に SV, SVC, SVO, SVOO, SVOC の5つがある。これらは**基本5文型**と呼ばれ、英語を正しく理解する上で有効な考え方となる。

なお、目的語を必要としない自動詞は SV または SVC で使い、目的語を必要とする他動詞は SVO, SVOO, SVOC で使う。

第1文型：SV (主語 + 動詞)

S	V	M (修飾語)
Sara	lives	in Tokyo.
サラは	住んでいる	東京に

→ 第1文型では動詞 (V) の後に目的語 (O) も補語 (C) もこない。

第2文型：SVC (主語 + 動詞 + 補語)

S	V	C	M (修飾語)
Ken	is	popular	in his class.
ケン	～です	人気	クラスで

→ 第2文型では動詞 (V) の後に補語 (C) がくる。S = C (S is C) の関係。

第3文型：SVO (主語 + 動詞 + 目的語)

S	V	O	M (修飾語)
I	bought	a T-shirt	yesterday.
私は	～を買った	T シャツ	昨日

→ 第3文型では動詞 (V) の後に目的語 (O) がくる。S ≠ O。

第4文型：SVOO (主語 + 動詞 + 目的語 + 目的語)

S	V	O	O
Ken	gave	Sara	a ring.
ケン	～に…をあげた	サラ	指輪

→ 第4文型では動詞 (V) の後に2つの目的語 (O) が、O (人) O (物) の語順でくる。

第5文型：SVOC (主語 + 動詞 + 目的語 + 補語)

S	V	O	C
We	call	our cat	Jiji.
私たちは	～を…と呼ぶ	家の猫	ジジ

→ 第5文型では動詞 (V) の後に目的語 (O) と補語 (C) がくる。補語は、目的語が「どんな内容か」「どんな状態か」を説明する。O = C (O is C) の関係。

File 1 基本5文型と自動詞・他動詞

文型	意味	使う動詞
第1文型	SV	S は～する 自動詞 (目的語は不要)
第2文型	SVC (S = C)	S は C である
第3文型	SVO	S は O を～する
第4文型	SVO (人) O (物)	S は O (人) に O (物) を～する 他動詞 (目的語が必要)
第5文型	SVOC (O = C)	S は O を C にする

序章

文の成り立ち

6 句と節

英語には語と文以外に、句と節というまとまりがある。→ 句と節のまとめ - p.138

句は〈主語 + 動詞〉を含まない2語以上のまとまり。

I'll call you **before noon**. [句] (お昼前に君に電話します。)

節は〈主語 + 動詞〉が含まれる2語以上のまとまり。

I'll call you **before I leave**. [節] (私が出かける前に君に電話します。)

名詞の働きをする名詞句や名詞節は、文の主語 (S)、目的語 (O)、補語 (C) になる。

主語 (S) の例

- (1) Swimming in the sea is fun. (海水浴は楽しい。)
S (名詞句) V C
- (2) Why he left the band is a mystery. (なぜ彼がバンドを脱退したのかは謎だ。)
S (名詞節) V C

目的語 (O) の例

- (3) I like to play soccer. (私はサッカーをするのが好きだ。)
S V O (名詞句)
- (4) I think (that) Sara is right. (私はサラが正しいと思う。)
S V O (名詞節)
- (5) Ken asked me what I was doing. (ケンは私に何をしているのか尋ねた。)
S V O O (名詞節)

補語 (C) の例

- (6) Her dream is to become a singer. (彼女の夢は歌手になることだ。)
S V C (名詞句)
- (7) The problem is that we do not have enough time.
S V C (名詞節)
(問題は私たちには時間が足りないということだ。)



- 1-1 父はよくネットで買い物をする。
 My father often () ().
 F 023 **Tip** 「現在の習慣」を表すとき、時制はどうする?
 「買い物をする」を1語の自動詞で表すと? 「ネットで」を1語の副詞で表すと?
- 1-2 地球は太陽の周りを回っている。
 The Earth _____ the Sun.
 F 024 **Tip** 「過去・現在・未来を通じて変わらない事実」を表すとき、時制はどうする?
- 1-3 ペットの世話は子どもに責任感を教える。
 (C) for pets (t) children responsibility.
Tip 「ペットの世話をすること」を主語にするとどうする?
 動詞が現在形のときに注意しないといけないことは?
- 2 コンサートは6時半から始まる。
 The concert _____ six thirty.
 F 034 **Tip** すでに確定していて、確実にやって来る未来の予定を表す時制は?
- 3-1 その女性は花に水をやっている。
 The woman _____ some flowers.
 F 025 **Tip** 「現在行っている動作」を表す形は? 「～に水をやる」を表す他動詞は?
- 3-2 ケンはずっと自転車で通学しているが、雨が降っているので今日はバスに乗っている。
 Ken usually _____ school by bike, but today he is on the bus
 because it _____.
 F 023 F 025 **Tip** 「いつもの習慣」を表すときの時制は? 「今まさに～している」を表す形は?
- 4 その留学生はトム・ホランドにちょっと似ている。
 The international student _____ Tom Holland a bit.
Tip 「～している」がすべて進行形になるとは限らない。「似ている」を表す動詞の形は?

- 1-1 My father often **shops online**.
 ▶ **現在形**は「今この瞬間」ではなく、「現在を含む広い範囲の時」を表す。現在の状態や現在の習慣的・反復的動作、変わらない事実や真理を表す。
 → V11-p.2
 ▶ この shop は自動詞。英語では1つの単語が複数の品詞で使われることがある。
 shop online 「ネットで買い物をする」
- 1-2 The Earth **goes around** the Sun.
 ▶ 過去・現在・未来を通じて変わらない事実や真理を表す時は現在形を使う。
 go around A 「Aの周りを回る」
- 1-3 **Caring for pets teaches** children responsibility.
 ▶ 主語が3人称単数の場合、動詞が現在形のときは、3単現(3人称単数現在)の-sが必要。動名詞や不定詞の主語は単数扱いになる。
 care for a pet 「ペットの世話をする」
- 2 The concert **starts at** six thirty.
 ▶ 交通機関の時刻や劇場の開始予定など、現時点で確定している未来の予定については現在形を使う。時の一点を示す前置詞はat。「～から始まる → ～に始まる」
- 3-1 The woman **is watering** some flowers.
 ▶ 「(今)～している(ところだ)」という今まさに行われている動作や行為を表すのは**現在進行形**。現在進行形は**am/are/is doing**の形。→ V11-p.2
 water flowers 「花に水をやる」—この water は他動詞。
- 3-2 Ken usually **goes to** school by bike, but today he is on the bus because it **is raining**.
 ▶ 「～している」が常に現在進行形とは限らない。「いつも～する」という現在の習慣は現在形、「～している」という今まさに起こっていることは現在進行形で表す。
- 4 The international student **resembles** Tom Holland a bit.
 ▶ 動詞には動作や行為を表す**動作動詞**(～する)と、ある状態が続いていることを表す**状態動詞**(～である、～している)の区別がある。状態動詞は原則として進行形にしない。resemble 「～に似ている」は状態動詞。→ File 2
 international student 「留学生」

File 2 状態動詞 — 原則として進行形にしない動詞

- 継続的状态を表す動詞 **be** 「～である」 **belong** 「所属している」
 have / own / possess 「持っている、所有している」 **resemble** 「似ている」
 depend 「頼る」 **contain** 「含んでいる」 **exist** 「存在する」
- 心理・思考を表す動詞 **like** 「好きである」 **love** 「愛する」 **hate** 「嫌う」
 believe 「信じる」 **know** 「知っている」 **understand** 「理解する」
- 知覚・感覚を表す動詞 **see** 「見える」 **hear** 「聞こえる」
 smell 「においがする」 **taste** 「味がする」 **feel** 「感じがする」

精選英作文

1

時制・完了形

QR

◀ 音声はこちら

- 1-1** 父はよくネットで買い物をする。
 (shops / my father / online / often).
 F 023 **My father often shops online.**
- 1-3** ペットの世話は子どもに責任感を教える。
 (responsibility / teaches / for / children / caring / pets).
Caring for pets teaches children responsibility.
- 3-1** その女性は花に水をやっている。
 (some / the woman / flowers / watering / is).
 F 025 **The woman is watering some flowers.**
- 5** プラスチックごみが環境を破壊している。
 (the / plastic waste / damaging / environment / is).
Plastic waste is damaging the environment.
- 6** その2人は来年結婚する。
 (getting / the / married / are / couple) next year.
 F 034 **The couple are getting married next year.**
- 7-1** おととの夏、家族で富士山に登った。
 I (ago / my family / climbed / two summers / Mt. Fuji / with).
 F 027 **I climbed Mt. Fuji with my family two summers ago.**
- 7-2** 小学生の時、1年間東京に住んでいたことがある。
 I (for / I / a year / in Tokyo / when / lived) was in elementary school.
 F 026 **I lived in Tokyo for a year when I was in elementary school.**
- 8** 友人が電話した時、サラは図書館で勉強していた。
 Sara (called / in the library / studying / when / her friend / was) her.
 F 028 **Sara was studying in the library when her friend called her.**
- 9-1** 自動運転車は交通をより安全にするだろう。
 (transportation / make / safer / self-driving / cars / will).
 F 029 **Self-driving cars will make transportation safer.**
- 9-3** 7時まで図書館で勉強する予定なんだ。
 (in the library / going / until / to / I'm / study) 7:00.
 F 030 **I'm going to study in the library until 7:00.**
- 12** ここ数年で私たちの生活様式はずいぶん変わった。
 Our way of life (a lot / the last / changed / few years / has / in).
 F 036 **Our way of life has changed a lot in the last few years.**

- 13-2** 何度か東京に行ったことがある。
 I (times / to / been / several / Tokyo / have).
 F 037 **I have been to Tokyo several times.**
- 14** ケンとは小学校で一緒だった頃からの付き合いだ。
 (since / I / known / we / have / Ken) were in elementary school together.
 F 038 **I have known Ken since we were in elementary school together.**
- 15** 私は8年間、英語を習っている。
 I (eight years / been / English / learning / have / for).
 F 039 **I have been learning English for eight years.**
- 16-1** 駅に着いた時には、電車はすでに出発してしまっていた。
 The train (left / had / got / already / I / when) to the station.
 F 041 **The train had already left when I got to the station.**
- 20-1** 近頃、ネットショッピングがますます人気になってきている。
 (more and more / online shopping / has / lately / become) popular.
 F 040 **Lately, online shopping has become more and more popular.**
- 22** ホテルに着いたらメッセージを送ります。
 I (get to / text / when / you / will / I) the hotel.
 F 032 **I will text you when I get to the hotel.**
- 25** 車の代わりに公共交通機関を利用すれば、二酸化炭素の排出の削減に貢献できる。
 (instead / public transportation / use / of / we / if) cars, we can help to reduce CO₂ emissions.
 F 032 **If we use public transportation instead of cars, we can help to reduce CO₂ emissions.**
- 26** 誰が送ったのかわからなければ、ファイルを開けるべきではない。
 You should not open a file (who / know / you / it / unless / sent).
 F 221 **You should not open a file unless you know who sent it.**
- 27** すみませんが、次のバスがいつ来るか教えていただけますか。
 Excuse me, could you tell (next bus / come / when / the / will / me)?
Excuse me, could you tell me when the next bus will come?
- 28** ケンが今夜、パーティーに来るかどうかわからない。
 (Ken / will / don't / I / if / know) come to the party tonight.
 F 215 **I don't know if Ken will come to the party tonight.**



32 英語は国際語として広く使われている。
 English () () () as an international language.
 F 069 **Tip** 「英語」は「使われる」側なので態は? 副詞「広く」の位置に注意。

33-1 多くの仕事が人工智能に取って代わられるだろう。
 Many jobs _____ by AI.
 F 072 **Tip** 「~だろう」という未来を表す助動詞と受動態を組み合わせると?

33-2 個人情報が盗まれるかもしれない。
 Personal information _____.
 F 071 **Tip** 「~かもしれない」を表す助動詞と受動態を組み合わせると?

33-3 プラスチック製品はリサイクルされるべきだ。
 Plastics _____.
 F 071 **Tip** 「~すべき」を表す助動詞と受動態を組み合わせると?

34 新しいバージョンがリリースされたところだ。
 A new version _____.
 F 074 **Tip** 完了形と受動態を組み合わせると?

35 生徒の生活習慣についての調査が行われている。
 A survey of student lifestyles () () (c).
 F 073 **Tip** 進行形と受動態を組み合わせると?

32 English **is widely used** as an international language.
 ▶ 受動態は **be + 過去分詞 (done) + by** ~ の形で、「S は~によって…される」という受け身の意味を表す。動作主を明示する必要がない場合や、動作主がはっきりしない場合は、by ~ を省略する。⇒ Grasp 3, VI 8-p.4
 be widely used 「広く使われている」— widely の位置に注意。
 an international language 「国際語」

33-1 Many jobs **will [would] be replaced** by AI.
 ▶ 助動詞を含む受動態は **助動詞 + be + 過去分詞 (done)** の形にする。⇒ File 8
 will [would] be done 「~されるだろう」— would は will より確実性が低い。
 replace 「~に取って代わる」

33-2 Personal information **may [might] be stolen**.
 may [might] be done 「~されるかもしれない」
 Ⓢ might は may の過去形だが過去の意味はない。might は「(ひょっとすると)~かもしれない」の意味を表し、may よりも確信度が低い場合に使うが、実際には may と同じ程度の確信度で使うことも多い。
 steal 「~を盗む」— 活用は steal—stole—stolen

33-3 Plastics **should be recycled**.
 should be done ①「~されるべきだ」②「~されるはずだ」
 recycle 「~をリサイクルする」

34 A new version **has been released**.
 ▶ 完了形の受動態は **have/has been + 過去分詞 (done)** の形にする。
 release 「~を放す, ~をリリース [発売] する」

35 A survey of student lifestyles **is being conducted**.
 ▶ 進行形の受動態は **be + being + 過去分詞 (done)** の形にする。
 「~されているところだ」
 conduct a survey 「調査を行う」
 lifestyle 「生活習慣, 生活様式」

Grasp 3 能動態と受動態

能動態は「動作をする側(動作主)」を主語にした文。受動態は「動作を受ける側」を主語にした文。

[能動態] Ken broke the vase. (ケンは花瓶を割った。)

S(動作主) V O(動作を受ける側)

[受動態] The vase was broken by Ken. (花瓶はケンによって割られた。)

S by + 動作主

Words to Use widely / use / replace / steal / recycle / release / conduct

File 8 助動詞を含む受動態

<input type="checkbox"/> will [would] be done	「~されるだろう」
<input type="checkbox"/> can [could] be done	「~され得る, ~されることが出来る」
<input type="checkbox"/> may [might] be done	「~されるかもしれない」
<input type="checkbox"/> must be done	①「~されなければならない」 ②「~されるに違いない」
<input type="checkbox"/> should be done	①「~されるべきだ」②「~されるはずだ」



音声はこちら

▼ 949~970 〈動詞 + up〉

949 彼女はさよならと言って電話を切った。
 She said goodbye and () () .
Tip 「電話を切る」を表す表現は?

950 「次の角で車を止めていただけますか。」「わかりました。」
 “Could you () () at the next corner, please?” “Sure.”
Tip 「車を止める」を表す表現は?

951 私は試験勉強のために夜更かしすることがある。
 I sometimes () () () to prepare for exams.
Tip 「夜遅くまで起きる = 夜更かしする」を表す表現は?
 「試験勉強のために → 試験の準備をするために」と表現する。

952 ケンはガールフレンドと別れたばかりだ。
 Ken has just (b) () () his girlfriend.
Tip 「(関係が)終わる」を表す表現は?

953-1 彼がそのイベントに現れた時、私たちは驚いた。
 We were surprised when he (t) () at the event.
Tip appear 「現れる」と同じ意味を表す表現は?

953-2 サラはパーティーに現れなかった。
 Sara didn't (s) () at the party.
Tip appear 「現れる」と同じ意味を表すもう1つの表現は?

949 She said goodbye and **hung up**.
 ▶ **up** は副詞。「上」の意味から、「達して、すっかり」などの完了・終了の意味を表す。→ Grasp28
 hang up 「電話を切る」→ 活用は hang—hung—hung
 ↑ 「(壁掛け電話の) 受話器を上へ上げて (up) フックに掛ける (hang)」が元の意味。
 ⇔ **hold on** 「電話を切らずに待つ」→ 1009
 say goodbye 「さようならを言う、別れを告げる」

950 “Could you **pull up** at the next corner, please?” “Sure.”
 pull up 「車を止める」= **stop**
 ↑ 「(馬の手綱を) 引き (pull) 上げて (up) 止める」が元の意味。
 pull over 「車を片側に寄せる」

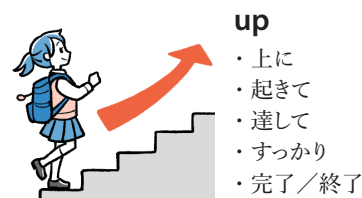
951 I sometimes **stay up late** to prepare for exams.
 stay up (late) 「夜更かしする」= **sit up (late)** = **keep late hours**
 ↑ 「遅く (late) まで起きて (up) とどまる (stay)」
 stay in bed 「寝ている」
 prepare for A 「A の準備をする」

952 Ken has just **broken up with** his girlfriend.
 break up (with A) ① 「(A と) 別れる、(関係が) 終わる」② 「ばらばらになる」
 ↑ 「ばらばらになり (break) 終了 (up) する」
 = **end** = **finish** = **come to an end**

953-1 We were surprised when he **turned up** at the event.
 turn up } 「現れる、姿を見せる」= **appear**
 show up }
 turn up A / turn A up 「A (音量など) を大きくする」→ 954

953-2 Sara didn't **show up** at the party.
 ▶ **show up** 「現れる、姿を見せる」→ 953-1

Grasp 28 up ⇔ down のイメージ



復習

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

23

副詞のイメージで覚える熟語

949
|
953

Self
Check

/

/

/

978 子どもはよく風邪を引く。
 Children often (c) () () a cold.
 Tip 「風邪を引く＝風邪にかかる」。「(軽い病気)にかかる」を表す表現は?

979 本題に入ろう。
 Let's () () () (b).
 Tip 「本題に入ろう＝仕事に取りかかろう」

▼ 980～985 (動詞 + in)

980 梅雨に入ると、日本はとても湿度が高くなる。
 When the rainy season () (), Japan becomes very humid.
 Tip 「梅雨に入ると → 梅雨が始まると」。beginと同じ意味を表す表現は?

978
 982
 981 ケンはたいていチームスポーツを好んでする。
 Ken usually () () () team sports.
 Tip 「～を好んでする」を表す表現は?

982-1 週末までに忘れずに課題を提出してください。
 Please remember to (t) () your (a) before the weekend.
 Tip submit 「～を提出する」と同じ意味を表す表現は?

982-2 明日の朝、レポートを提出する必要がある。
 I need to (h) () my (p) tomorrow morning.
 Tip submit / turn in 「～を提出する」と同じ意味を表す別の表現は?

978 Children often **come down with** a cold.
 = Children often **catch** a cold.
 come down with A 「A(軽い病気)にかかる」 = **become ill with** A
 ↑ 「病気で(with)ダウンした(down)状態になる(come)」
 ⊕ **catch (a) cold** 「風邪を引く」

979 Let's **get down to business**.
 get down to A 「A(仕事など)に取りかかる」
 ↑ 「仕事に対し(to)腰を下ろした(down)状態になる(get)」
 = **start** A = **begin** A = **set about** A = **go about** A

980 When the rainy season **sets in**, Japan becomes very humid.
 ▶ この in は副詞で、「中に」などの意味を表す。→ Grasp 29
 set in 「(天気・感染などが)始まる」 = **begin** A
 ↑ 「状況などに入った状態(in)が定まる(set)」
 the rainy season 「梅雨(つゆ)」
 humid 「湿った, 蒸し暑い」 ⇔ **dry** 「乾いた, 乾燥した」

981 Ken usually **goes in for** team sports.
 go in for A 「Aを好んでする」 ⇔ 「Aの方向へと(for)中に入って(in)行く(go)」
 ▶ like 「～を好む」よりも、積極的に活動に参加することを表す。

982-1 Please remember to **turn in** your **assignment(s)** before the weekend.
 turn in A / **turn A in** } 「Aを提出する」 = **submit** A
 hand in A / **hand A in** }
 ⇔ **hand out** A / **hand A out** 「Aを分配する」 = **distribute** A
 ⓑ Aが代名詞のときは turn A in の語順になる。○ turn it in × turn in it
 ▶ turn in A / turn A in はアメリカで、hand in A / hand A in はイギリスで使われる。
 remember to do 「忘れずに～する」
 assignment 「課題, 宿題」 一数えられる名詞。homework は数えられない名詞。

982-2 I need to **hand in** my **paper** tomorrow morning.
 ▶ hand in A / hand A in 「Aを提出する」 → 982-1
 paper 「(学生の課題の)レポート」 一 **report** 「(社会人の)報告書」

復習

/

/

/

/

/

/

/

23

副詞のイメージで覚える熟語

Grasp 29 in ⇔ out のイメージ



in
 ・中に
 ・入って



out
 ・外に
 ・出して
 ・尽きて
 ・切れて
 ・除いて

Self Check

/

/

/



1056 電車は20分遅れて東京駅に到着した。
 □□□ The train (a) () () () 20 minutes late.

Tip 「～に到着する」を表す表現は?

1057 人をじっと見るのは失礼だ。
 □□□ It is rude to (s) () () .

Tip 「～をじっと見つめる」を表す表現は? 「人」は「誰か、ある人」を表す語を使う。

1058 その政策はCO₂排出量の削減をめざしている。
 □□□ The policy () () () down on CO₂ emissions.

Tip 「～をめざす、～をねらう」を表す表現は?

1056 The train **arrived at Tokyo Station** 20 minutes late.
 ▶ at は前置詞で、「場所の一点、目標点」などの意味を表す。→ Grasp33
 □ arrive at A
 get to A
 reach A } 「A に到着する」⇔「場所の一点に(at) 到着する(arrive)」
 ⊕ arrive in A 「A(都市など)に到着する」

1057 It is rude to **stare at someone**.
 □ stare at A 「A をじっと見つめる」
 ↑ 「視野の中の一点(at) をじっと見る(stare)」
 ○ It is rude to do 「～するのは失礼だ」

1058 The policy **aims at cutting** down on CO₂ emissions.
 □ aim at A 「A をねらう、A をめざす」⇔「一点(at) を目標とする(aim)」
 ○ policy 「政策」
 ○ cut down on A 「A を減らす」= reduce A
 ○ CO₂ emissions 「CO₂ 排出量」

復習

Grasp 32 前置詞を含み、他動詞の働きをする熟語

〈動詞+(副詞/名詞)+前置詞〉で構成される熟語は他動詞の働きをする。前置詞のイメージをつかんでおくと熟語の意味が理解しやすくなる。

look for



Mom is **looking for** her key. (ママは鍵を探している。)

look into



He is **looking into** the murder case. (彼はその殺人事件を調査している。)

look after



Dad is **looking after** the baby. (パパは赤ちゃんの世話をしている。)

look up to



She **looks up to** him for his courage. (彼女は勇気のある彼を尊敬している。)

look down on



He **looks down on** other people. (彼はほかの人たちを見下している。)

look forward to



I'm **looking forward to** seeing her. (彼女に会うのを楽しみにしている。)

take part in



He **took part in** the meeting. (彼はそのミーティングに参加した。)

make room for



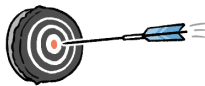
They **made room for** me. (彼らは私のために場所を空けてくれた。)

give way to



The young man **gave way to** the king. (その若者は王に屈した。)

Grasp 33 at のイメージ / in のイメージ



at

- ・～に、～で
- ・～を目指して
- [場所の一点]
- [時の一点]
- [目標]



in

- ・～の中に
- ・～において
- [空間の中]
- [状態の中]
- [分野の中]

▼ 1145~1146 <動詞 + by A>

1145 私の家族はつらい時に私の味方になってくれる。
 My family will () () () in hard times.
Tip 「～の味方でいる = ～を支持する[支える]」を表す表現は?

1146 どうやってこれらのコンサートチケットを手に入れたのですか?
 How did you () () these concert tickets?
Tip 「～を手に入れる」を表す表現は?

▼ 1147~1149 <under + 名詞>

1147 新しい市庁舎が建設中だ。
 The new City Hall is (u) ().
Tip 「建設中で」を表す表現は?

1148 文化祭の準備は順調に進んでいる。
 Preparations for the school festival are well () ().
Tip 「進んでいる = 進行中である」と表現する。

1149 その森林火災を鎮圧するのに1週間かかった。
 It took a week to bring the forest fires () ().
Tip 「鎮圧する → 制御下に持ってくる」と表現する。

1145 My family will **stand by me** in hard times.
 ▶ by は前置詞で、「～のそばに」などの意味を表す。→ Grasp40
 stand by A 「A を支持する」
 ↑ 「A のそばに (by) 立つ (stand)」
 = support A = stand up for A
 hard time 「つらい時」

1146 How did you **come by** these concert tickets?
 come by A 「A を手に入れる」 = obtain A = get A
 ↑ 「A のそばに (by) 人が来る (come)」

1147 The new City Hall is **under construction**.
 ▶ under は前置詞で、「～の下に、～下で」という意味を表す。
 → Grasp40, File106
 be under construction 「建設中である」 = be being built
 ↑ 「建設 (construction) 中 (under) である (be)」
 City Hall 「市役所」一市の市役所は1つに特定されているため固有名詞扱いとなり、C と H は大文字で表記することが多い。

1148 Preparations for the school festival are well **under way**.
 under way underway } 「進行中で、すでに始まっている」
 ↑ 「道のり (way) の下に (under) ある」
 preparation for A 「A の準備」
 school festival 「学園祭, 文化祭」

1149 It took a week to bring the forest fires **under control**.
 under control 「支配下で」 ⇔ 「制御 (control) の下 (under)」
 ⇔ **out of control / out of hand** 「制御がきかない, 手に負えない」 → 1151
 It takes (A) + B(時間) + to do 「(A が) ~するのに B(時間) がかかる」
 bring A under control 「A(火事・事態など)を抑える」
 forest fire 「森林火災」 = wildfire 「山火事」

Grasp 40 by のイメージ / under のイメージ

by

- ・～のそばに
- ・～によって
- ・～で [手段]
- ・～単位で



under

- ・～の下に
- ・～下で
- ・～中の



Words to Use stand / come

File106 その他の <under + 名詞>

- under arrest** 「拘束されて, 逮捕されて」
- under pressure** 「圧力を受けて」
- under attack** 「攻撃されて」
- under repair** 「修復中の」
- under discussion / under consideration** 「討議中の, 審議中の」
- under examination** 「検討中の, 審理中の」
- under negotiation** 「交渉中の」
- under investigation** 「調査中の」
- under development** 「開発中の」

1145
|
1149

/

/

/

/

/

音の変化 ① /p/の音のつながり

1. () () . やめなさい。
2. A () () coffee, please. コーヒーを1杯ください。
3. Please () () . どうか私たちを助けてください。
4. () () doors locked. すべてのドアを施錠しなさい。

音の変化 ② /t/の音のつながり

1. () () moment. 少々お待ちください。
2. You () () the law. 法律に従わなければなりません。
3. Put your () () . 帽子をかぶりなさい。
4. () () it? それは何ですか。
5. We had a () () fun. 私たちはとても楽しかったです。
6. She () () the cookies. 彼女はクッキーを全部食べました。
7. I () () day cleaning. 私は一日中掃除をして過ごしました。
8. () () () bed. ベッドから出なさい。
9. () () () () ! なんて素晴らしいアイデアでしょう!
10. Choose the () () . 正しい答えを選びなさい。

音の変化 ③ /d/の音のつながり

1. You () () ! やりましたね!
2. What () () do? 私はどうすべきですか。
3. I () () . それは支払いました。
4. () () make a suggestion? 提案してもよろしいですか。
5. I can't () () . それを見つけれられません。
6. () () tight. しっかりつかまりなさい。
7. I () () sandwich. 私はサンドイッチを食べました。
8. He () () a story. 彼は私たちに話をしてくれました。
9. There are () () . 傷んだリンゴがあります。
10. Are you still () () me? あなたはまだ私に怒っていますか。
11. He () () medicine. 彼はあらゆる薬を試した。
12. Don't () () your money. お金をすべて使ってはいけません。
13. What () () music do you like? どんな音楽が好きですか。

Linking with /p/ sounds

1. (**Stop**) (**it**) .
2. A (**cup**) (**of**) coffee, please.
3. Please (**help**) (**us**) .
4. (**Keep**) (**all**) doors locked.

Linking with /t/ sounds

1. (**Just**) (**a**) moment.
2. You (**must**) (**obey**) the law.
3. Put your (**hat**) (**on**) .
4. (**What**) (**is**) it?
5. We had a (**lot**) (**of**) fun.
6. She (**ate**) (**all**) the cookies.
7. I (**spent**) (**all**) day cleaning.
8. (**Get**) (**out**) (**of**) bed.
9. (**What**) (**a**) (**great**) (**idea**) !
10. Choose the (**right**) (**answer**) .

Linking with /d/ sound

1. You (**did**) (**it**) !
2. What (**should**) (**I**) do?
3. I (**paid**) (**it**) .
4. (**Could**) (**I**) make a suggestion?
5. I can't (**find**) (**it**) .
6. (**Hold**) (**on**) tight.
7. I (**had**) (**a**) sandwich.
8. He (**told**) (**us**) a story.
9. There are (**bad**) (**apples**) .
10. Are you still (**mad**) (**at**) me?
11. He (**tried**) (**every**) medicine.
12. Don't (**spend**) (**all**) your money.
13. What (**kind**) (**of**) music do you like?

▼ /p/の音と母音がつながり、音に変化する。

1. (**Stop it**) .
2. A (**cup of**) coffee, please.
3. Please (**help us**) .
4. (**Keep all**) doors locked.

▼ /t/の音と母音がつながり、音に変化する。

1. (**Just a**) moment.
2. You (**must obey**) the law.
3. Put your (**hat on**) .
4. (**What is**) it?
5. We had a (**lot of**) fun.
6. She (**ate all**) the cookies.
7. I (**spent all**) day cleaning.
8. (**Get out of**) bed.
9. (**What a great idea**) !
10. Choose the (**right answer**) .

▼ /d/の音と母音がつながり、音に変化する。

1. You (**did it**) !
2. What (**should I**) do?
3. I (**paid it**) .
4. (**Could I**) make a suggestion?
5. I can't (**find it**) .
6. (**Hold on**) tight.
7. I (**had a**) sandwich.
8. He (**told us**) a story.
9. There are (**bad apples**) .
10. Are you still (**mad at**) me?
11. He (**tried every**) medicine.
12. Don't (**spend all**) your money.
13. What (**kind of**) music do you like?

監修者

島原 一之 河合塾講師
山崎 のぞみ 立命館大学教授

野村 恵造 元東京女子大学教授
内田 諭 九州大学准教授

編著者

啓林館編集部

英文校閲

Barnaby Ralph 東京大学大学院教授

校閲協力

佐野 光宜 河合塾講師
高石 清人 富士学院専任講師
今野 勝幸 龍谷大学准教授

胡摩崎 章秀 河合塾講師
西山 恵美 元大阪府立西高等学校指導教諭
西脇 幸太 岐阜聖徳学園大学専任講師

特別協力

石原 健志 大阪星光学院中学校・高等学校教諭
加藤 仁恵 渋谷教育学園幕張中学校・高等学校教諭
西村 玲和 甲陽学院中学校・高等学校教諭

岡崎 友泰 高槻中学校・高等学校教諭
高木 保欣 明星中学校・高等学校教諭

編集協力

安藤 勇輝 桜蔭中学校・高等学校教諭
関本 麻千子 武蔵高等学校中学校教諭
中林 豊 帝塚山中学校・高等学校教諭
福本 拓真 愛媛県立新居浜西高等学校教諭
星本 昌法 洛南高等学校・
洛南高等学校附属中学校教諭

加藤 絵美 駒場東邦中学校・高等学校教諭
高崎 朋彦 開成中学校・高等学校教諭
平澤 恵 東京都立両国高等学校・
附属中学校主任教諭
松岡 満矩 東大寺学園中・高等学校教諭
御崎 健太郎 桃山学院中学校・高等学校教諭

表紙

浪本 浩一 株式会社 ランデザイン

デザイン制作

浪本 浩一, 浪本 佳苗 株式会社 ランデザイン

イラスト

ハピネス☆ヒジオカ
猫柳 あすか

写真提供

Getty

Vision Quest インサイト Insight 英文法・語法・熟語 問題集

編著者 啓林館編集部

発行者 株式会社 新興出版社啓林館 代表者 佐藤 諭史

大阪 〒543-0052 大阪市天王寺区大道4丁目3番25号 電話(06)6779-1531
東京 〒113-0023 東京都文京区向丘2丁目3番10号 電話(03)3814-2151
支社 北海道・東海・広島・九州
URL <https://www.shinko-keirin.co.jp/>

印刷所 TOPPANクロレ株式会社

発行日 令和7年3月1日

※著作権法上の例外を除き、複製・公衆送信等を行うことを禁ずる。制作中のため紙面は変更となる可能性があります
※QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。2025内容解説資料



自由英作文の論理パターン

QR

序論 (主題文)

<p>1 主張する (肯定/賛成)</p> <p>I agree that ... 「私は…ということに賛成だ」 I agree with the idea. 「私はその考えに賛成だ。」 I am in favor of A 「私はAに賛成だ」 It is a good idea to do 「～するのはいい考えだ」</p>	<p>2 主張する (否定/反対)</p> <p>I do not agree that ... 「私は…ということに反対だ」 I disagree with that opinion. 「私はその意見に反対だ。」 I am against A 「私はAに反対だ」 It is not good to do 「～するのは良くない」</p>	<p>3 序論で使える表現</p> <p>Let me explain (about) A 「Aについて説明します。」 In general, ... 「一般的に…」 Generally speaking, ... 「一般的に言って…」 In my opinion, ... 「私の意見では…」 I have two [three] reasons. 「理由は2つ [3つ] あります。」</p> <p>There are a number of ways to do 「～するにはいくつもの方法がある」 Many things can be done to do 「～するために多くのことができる」 Imagine ~ 「～を想像してみてください」</p>
---	--	--

本論 (支持文)

<p>4 論理パターンA (列挙)</p> <p>First, ... 「第一に…」 Firstly, ... 「第一に…」 Second, ... 「第二に…」 Secondly, ... 「第二に…」 Moreover, ... 「その上…」 In addition, ... 「加えて…」 Third, ... 「第三に…」 Thirdly, ... 「第三に…」 Finally, ... 「最後に…」 Lastly, ... 「最後に…」</p>	<p>5 論理パターンB (譲歩 → 反論)</p> <p>譲歩</p> <p>Of course ..., but ~ 「もちろん…だが, ~」 It is true that ..., but ~ 「…というのは本当だが, ~」 Some (people) say ... 「…という人もいる」 Some (people) may think ... 「…と考える人もいるかもしれない」</p> <p>反論</p> <p>However, ... 「しかしながら…」 Nevertheless, ... 「それにもかかわらず…」 ~, but that doesn't mean ... 「～だが, だからと言って…というわけではない」</p>	<p>6 理由を述べる</p> <p>This is because ... 「これは…だからだ」 This is partly because ... 「これは1つには…だからだ」 ~ mainly because ... 「~, というのは主に…だからだ」 The reason (why) S'+V' is that ... 「～する理由は…だからだ」 For one thing, ... For another, ~ 「1つの理由は…。もう1つの理由は～」</p>	<p>7 原因や因果関係を述べる</p> <p>because of A 「Aのために」 due to A 「Aのために」 A cause B 「AがBを引き起こす」 A lead to B 「AはBにつながる」 A result in B 「AはBという結果に終わる」</p>	
<p>8 結果を述べる</p> <p>This is why ... 「こうした理由から…」 Therefore, ... 「ゆえに…」 Thus, ... 「このように…」 As a result, ... 「結果として…」 As a result of A 「Aの結果として」</p>	<p>9 具体例を挙げる</p> <p>for example 「例えば」 for instance 「例えば」 Take ~, for example. 「～を例にとってみよう。」 ~ such as A and B 「AやBのような～」</p>	<p>10 対比する</p> <p>~, while ... 「~, 一方で…」 On the one hand, ~, but on the other hand, ... 「一方では～だが, 他方では…」 unlike A 「Aとは違って」</p>	<p>11 本論で使える表現</p> <p>In fact, ... 「実は…」 The fact is that ... 「実のところ…だ」 This proves that ... 「これは…ということを示している」 There is no doubt that ... 「…ということ間違いはない」</p>	<p>12 資料・写真について説明する</p> <p>This graph [chart] shows that ... 「このグラフ [図] は…ということを示している」 In this chart, it is clear that ... 「この図では, …ということが明らかだ」 According to the table, ... 「表によると, …」 The survey shows that ... 「調査によると…」 This photo shows ~ 「この写真は～を表している」</p>

結論 (結論文)

<p>13 再主張する (肯定/賛成, 否定/反対)</p> <p>For these two [three] reasons, I am in favor of [I am against] A 「これらの2つの [3つの] 理由から, 私はAに賛成だ [反対だ]」 All things considered, I agree [I do not agree] that ... 「すべての点を考慮すると, 私は…ということに賛成だ [反対だ]」</p>	<p>14 結論を述べる</p> <p>In conclusion, ... 「結論として…」 To sum up, ... 「要するに…」</p>	<p>15 提案する</p> <p>I suggest that ... 「私は…を提案します」 It would be better to do 「～するほうが良いだろう」 The best way to do ~ is to do ... 「～する最善の方法は…することだ」</p>
---	--	--